

山や斜面植栽等で整備を

景観を考慮し緑化を検討



あさの 浅野 議員
しゅういち 修一

問 町外からの訪問、視察も増えると思うが、庁舎への玄関口として、斜面に芝桜や桜の木等を植えてはどうか。

答 大西町長

長期的財政を見たときに、華美なもの提案とは思わないうが、そこに掛けるお金があるとすれば、それを原資に住民サービスに振り替えたいというのが、この設計思想の最大の根幹だ。ただし、いったんはこのまま進め、後年、見通しつければ考慮する。

問 新庁舎周辺の山や斜面の再生、整備、樹木の植栽等の考えはあるか。

答 金子まちづくり課長

地山である法面には手を加えず、自然のまま残す。一方、盛土施工の法面は、安定こう配で植生基材等を用いた緑化を計画している。町道新庁舎防災広場線沿いの法面は、新庁舎の入口となるので、ある程度景観を考慮し植栽を計画検討している。

地域おこし

町民大運動会を開催しては

早期の実施は困難と感ずる

問 町民相互の親睦および体力向上のために、町民大運動

会を開催してはどうか。

答 森田総務課長

町民が一同に参加する事業となると、早期の実施については困難であると感じる。同様の効果を得る事業として、はだしマラソン、町民マラソン、駅伝等のイベントがある。今後、これらの事業を十分活用し、町民相互の親睦および健康増進を図ることが出来る取り組みを進めたい。

防災・減災

佐賀地区避難タワー日照権

日影規制に違反せず

問 これまでに建設した津波避難タワーでも、様々な問題

があったが、佐賀浜町地区に建設中のタワー周辺は、その高さから、特に日照の問題が大きいと思う。今後の、町としての対応と考えを聞く。

答 松本情報防災課長

南海トラフ地震が発生した



佐賀地区津波避難タワー周辺(午後2時過ぎ頃)

場合には、津波から命を守る大切な避難施設であるが、建設される隣接地に於いては、今まで存在しなかった高い建築物ができるわけなので、日常生活に於いて様々な影響が発生する。その一つが日照権の問題だが、黒潮町では、既設の津波避難タワーも含め、これまでの判例等を調査しながら慎重に検討をしてきた。佐賀地区避難タワーにお

いても、実形状の日影時間で判断すると、地域性を考慮し、受忍限度内となることや、津波避難タワーに関する日照権の判例がないため、慰謝料を含む損害賠償を支払う根拠を見出すことができなかった。今後、もし慰謝料を含む損害賠償を支払う根拠が明確になれば、可能な限り対応する。